令和５年　６月　30日

令和４年度　特別の教育課程の実施状況等について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 栃木県 |  | | |
| 学　校　名 | | 管理機関名 | 設置者の別 |
| 足利市立名草小学校 | | 足利市教育委員会 | 公立 |

１．特別の教育課程の内容

（１）特別の教育課程の概要

　　　本市全小学校において、平成１５年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

２．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

　　　計画通り実施できている

　　　・一部、計画通り実施できていない

　　　・ほとんど計画通り実施できていない

（２）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

　　　実施している

　　　・実施していない

（３）自校における評価

　　・第１学年から発達段階に合わせ、様々な活動やゲームを通して英会話学習を実施することにより、楽しく学習に取り組めている。ＡＬＴやＥＡＡの先生が英語とジェスチャーで指示してくれることで、懸命に聞いて理解するようになった。

・校内でＡＬＴやＥＡＡと進んで英語で挨拶を交わしている姿をよく見かける。英語で話すことのハードルが下がってきているように思われる。

・学年が上がるにつれ、簡単な英単語を覚えたり、英語による基礎的なコミュニケーションがとれるようになってきたりしており、英語を聞き取る力も向上している。

　　・ハロウィンやクリスマスなど行事や文化に合わせた活動によって、外国の文化に対する興味・関心が高まっている。

（４）学校関係者による評価

　 ＜児童＞

・令和4年度のアンケートの「英会話学習の授業で楽しく勉強していますか。」という質問に対し、児童全員が「はい」と答えている。

　　・英語チャレンジＤＡＹでは、他国の生徒とリモートでの交流ができ、外国への興味関心が高まると共に、英語によるコミュニケーションの意欲が高まった。

　　＜保護者＞

　　・令和4年度の保護者アンケートの「子ども達は楽しく英会話学習に取り組んでいる」に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた保護者が41人中40人。１人は「あまりあてはまらない」との回答だった。

３． 実施の効果及び課題

・英会話学習は活動が多いため、普段控えめな児童も、積極的に前に出ることができる。

・英会話の学習は楽しいという印象をもっている児童が多いが、教科として外国語を教える前段階として、これからも英会話が好きな児童を育成することが大切である。

・進んで英語で話せる子どもの育成を図る。

４．課題の改善のための取組の方向性

・ゲームやアクティビティ、次の学年につながるような、書いたり読んだりする活動を今後も取り入れていく。

・ＡＬＴやＥＡＡとの打合せの時間を確保する。また、教材や資料について話し合い、学校間で協力して使用できるものを共有することを続けていく。